

「感染症起因菌同定における次世代・次々世代シーケンサーの有用性の検証研究」について

加古川中央市民病院脳神経内科では、神戸大学医学部附属病院神経内科との共同研究として、研究を実施しております。内容については下記の通りとなっております。

尚、この研究についてご質問などございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

感染症は医療における大きな問題であり、時に重篤となり死にいたることもあります。感染症の克服において起因菌の同定が重要ですが、現在、通常診療で用いられている検査方法では、菌の同定ができない場合も多々有り、治療に難渋します。感染症の原因となっている起因菌を、より早く、より正確に検出できるようになれば、適切な薬剤を選択することができ、感染症の治療を行う上で大変有用です。

そこで、神戸大学大学院医学研究科神経内科/分子脳科学では、2006年1月1日～2018年6月1日の間に神戸大学医学部附属病院および関連病院で感染症について診療を受けられた患者さんを対象とし、診療の過程で採取された血液や髄液などの試料を次世代・次々世代シーケンサーにて解析し、従来法よりも早く正確に起因菌を同定できるか検証する研究を実施することといたしました。

【研究期間】

研究対象期間：2006年1月1日 ～ 2018年6月1日

研究機関：病院長承認日～2023年5月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2006年1月1日から2018年6月1日までに、神戸大学病院や関連施設で血液、髄液等の倦怠を採取した、感染症が疑われた患者さんの下記データを収集いたします。

- ・患者基本情報：年齢、性別、診断名、既往歴、合併症、薬歴、検査結果、臨床経過
- ・診療の過程で採取された試料：血液、髄液、組織等

【個人情報保護の方法】

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科神経内科/分子脳科学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

【研究へのデータおよび試料提供による利益・不利益】

利益：本研究にデータをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用する研究であるため特にありません。

[研究終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

患者さんよりご提供いただきました試料や情報は、研究期間中は神戸大学大学院医学研究科神経内科/分子脳学において厳重に保管されます。ご提供いただいた試料や情報が今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き神戸大学大学院医学研究科神経内科/分子脳科学で厳重に保管させていただきます。（情報は永年保管し、試料も枯渇しない限り永年保管いたします。）

なお、保存した試料や情報を用いて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し病院のホームページに掲載します。

ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 脳神経内科
石原 広之
連絡先：079-451-5500